常磐毎日新聞

日刊　夕刊　十月廿五日

[illegible]
日曜祭日の翌日休刊
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

小兒科內科
酒井醫院
◎入院隨意（電話五五）
醫學博士酒井保
平市字南町

一部落十餘名が結託
大掛りな自轉車竊盜
乘り廻し中の贓品から
足が付いて檢擧

平署では最近管下各所に頻々として自轉車泥が横行するので各方面に手配搜索中飯野村大字上高久字小泉道路人夫渡邊與吉が昨年五月市內古鍛冶町作田指物店の盜難自轉車を乘り歩いたのを被害者が發見したことからはしなくも犯人は目下住居不定無籍者前科一犯林藤吉(三)の所爲と判明、二十三日夜湯本町劇場で觀覽中を高子、藤田兩巡査が踏み込み逮捕した、取調べの結果

同人は昨年五月平地方で自轉車二十臺を搔拂い鹿島村某部落に賣拂つて懲役に處され今春三月水戸刑務所出所後平地方をはじめ福島、郡山、棚倉その他茨城縣下を股にかけ自轉車五十餘臺を竊取

この盜品處分には飯野村大字上高久字小泉の部落民農白土専治(四〇)白土榮(三〇)根本三郎(四〇)田中正宗(三)林一(三五)白土忠彌(五〇)大和田新太郎(五〇)渡邊濟(三)朝田中治右工門(三六)鈴木國光(三六)小泉忠義(三五)等一味十一名が一役買つてゐたことが判明直ちに關係者全部を檢擧したが斯かる大掛りな自轉車竊盜事件は餘り例がないだけに係官も緊張取調べを續行中である

出所を待ち受け
惡の道の一儲け
此の資源不足の折に
一人で四、五臺も持つ

(別項)自轉車泥の口からはしなくも一役買つてゐたこと發露した飯野村高久字小泉部落民一味十一名は目下平署で嚴重取調べを受けてゐるが

同人等は以前犯人の林が村に手間取奉公をしてゐた關係上顏なじみであつたところから時局下資源不足の折柄一儲けせんと出所して來村したのを奇貨に旅費などを支給、盜品は全部引受けるからと敎唆惡を働かせ品物は二十圓から四十圓で買受けこれを常用したり他に賣り飛したりして儲けてゐたもので中には一人で現在三、四臺を持つてゐるものがあるといふ

尙他に關係者多數あるらしく引續き搜査の手を進めてゐる

契約濟と稱して
木炭を山と積む
是れ等の賣惜みに
平署經濟課が『斷』

平署經濟課では既報の如く政府供出木炭の蒐集に圓滑を期する建前から各家庭に對し木炭の消費節減を慫慂することになり具體案を練つてゐたが、成案を得たので近くいよ〳〵取締りに乘出すこととなつた

即ち小賣業者の中には木炭を山と積んで置きながら契約濟み等と稱して一般家庭からの需要に應じない所謂賣り惜みをなすものが相當多い現狀にかんがみ先づこれを嚴重取締つて眞に木炭が手に入らず困つてゐる家庭への配給に遺憾なきを期し、一方一般家庭側にも時局經濟を認識しない不心得者が居つて買ふのは今の中だとばかり買ひ急ぎ、買ひ溜めをなすものが激增してゐるのでこれを防止するため今後は一回に一俵だけしか必ず賣らせぬこととし嚴守させる方針である

右につき瀬戸係部長は語る

今木炭は各商店に豐富にあるわけだから手に入らない等といふ家庭はないはずだ、若し買へないといふ家庭があれば小賣店の賣惜みと思はれるから先づこれを嚴重に取締る、さうしておいて一方家庭の方にも買溜めをさせないため一回に一俵以上は絕對賣らせないこととした、かうして節減 [illegible] の方も自ら圓滑になるわけだ、賣り惜みをしてる商人があつたら遠慮なく警察へ訴へてほしい

製繩工業
平市に組合

既報結成準備中であつた『平製繩工業組合』の發會式は二十四日平市紺屋町福島無盡支店樓上であげられ組合長には平市の久野柳助氏が推された

同組合管內平市始め小名濱、江名、上遠野、草野、玉川、豊間、四倉、植田、湯本、磐崎鹿島各町村における前年度の製繩高は十九萬五千貫、八千五百餘圓に達してゐる

底潮が冷く
秋刀魚寄付かず
漁況は悲觀

〃今年の秋刀魚は一体どうしたのだろう……〃はや漁期も過ぎそうなのにさつぱり姿を見せぬので小名濱水產試驗場に聞いてみると

例年ならもう本縣沖に姿を見せねばならぬのだが今年は底潮が冷たく秋刀魚は金華山沖に停滯してゐる、鹽屋沖に南下する頃は漁群が散逸して豊漁といふ譯にはゆかぬ、漁船は公價と資材關係で出來るだけ航海期を延ばして居り水揚回數が少く味覺の秋も期待外れに終りそうだ……と悲觀說を唱へてゐる

運轉手免許　平署

管內瀧田平藏君はこの程行はれた縣自動車運轉免許試驗に合格した

在鄉軍人の
善行を表彰

地方における在鄉軍人分會員左記諸氏は多年會のため盡力これが發展に寄與せる功勞甚大なるものありとて帝國在鄉軍人會長井上幾太郎大將からこの程その善行を表彰され近く縣支部から傳達されることになつた

△平市豫上愛澤正長、豫歩上永島道雄、豫歩上久田勝美、後歩上根本好文△石城郡(大浦)後歩軍根本三右衞門、後砲伍鈴木要、後砲上久野光行(永戸)豫砲上吉田賢四郎、後歩上草野幸一(入山炭礦)豫工少尉飯島隆俊、元歩軍曹渡邊盛衛、後歩上富澤敏雄、後歩一奥山炭吉、後歩一佐藤長吉、(泉)後歩伍佐藤源一郎(古河礦業所)後歩上鍛冶田登、後歩一森本米吉、後歩上菅野三好、補歩大內敏夫、補歩村山元嶺

平市の國婦
明日の總會
講師は水間女史
餘興〝曉に祈る〟

既報平市國防婦人會の第四回支部總會は明二十六日午前十時から市公會堂 [illegible] 立つて各分會の總會を開き午後零時半からは大藏省囑託水間八穗女史の〃 [illegible] る講演があり終つて餘興に市內第二、第三小學校五、六年兒童から選ばれた七十五名の演藝『曉に祈る』等催され午後四時閉會する事になつてゐる

小名濱支局通信

東山向瀧を訪ねて

支局長　小野務平

（一）

待つ事時餘、零時十五分發新潟行の列車が組成して第二番線に橫付けになる、先を爭ふて旅客何處もいづこも同じ譏謗の美德などと云ふ德義は片鱗も發見出來ぬ、老を排して居を占めるやら幼を退けて席を奪ふやら赤兒を背にする婦人を停立せしむるなど生國地獄の前奏曲を見聞するの觀がある。

元來最近旅客も多い中にも時もあらうに觀光氣分で胸間團体徽章を晴れやかにつけた一團なども目擊する、此等の人々に依つても竟に乘客の增加は免れぬだらう込み合ひ押し合ひ一隅に漸く席を占めて又雜誌に眼を放ち松岡外相論に見入るのであつた。

汽車は遠慮なしに猪苗代湖畔に軌る、遠くは磐梯山の秀峰紺碧の湖水に異影を留め會津衆岳の雄領を示す、湖水亦無限の發電を起す水源となつて時代に即應するの資源圈內に置かる、猪湖、磐梯共に觀光の目標は昨日の事で、今日は前者は青少徒の登山によつて体位の向上と精神の鍛錬場と化し、後者は現に幾萬キロを發電して工業日本の原動力を送る源泉と化して居る、會津地方の特長茲に至つて盡せりと云ふべきである。

歌頌措かざる磐梯と猪湖を眺めて轉回すれば最早會津平である曠漠たる田圃は幾千町歩なるかを知らぬ、其中央に位した會津若松の市街が青螺の如く遠かに望み見て蒲生上杉を初め保科諸侯の善治の跡が歷然として存する事を腦裡に浮び上がる此の秀麗無二の天惠あるに於て偉人傑士を數限りなく輩出して居る會津こそ決して謂はれなきにあらずである。

汽車は午後二時十五分若松驛に到着した、若松には警察署に甥の西丸警部補あり、福島無盡金庫若松出張所に大高保君あり、旣に若松入りを知つた大高君は出口に待つて居つて呉れたので、手荷物一切を大高君に預け單身輕裝して一行と同乘東山に向つたのであつた。

若松市は曾遊の地である、鶴ケ城跡、白虎隊士の墓等幾回か尋ね其英魂を弔ひつゝあつた、疾走するバスに搖られ僅かに二十分の短時間で東山廓外に辿り着いたのである

——（續く）——

有權者名簿
閱覽期日迫る

市會議員並に衆議員選擧資格者名簿の閱覽期間は十一月五日から十四日間だがこれを前に市關係吏員は目下大童で整理してゐる

勿來町葬

既報前線で散華した勿來町出身平山寅雄上等兵の町葬は今二十五日午後一時から同町小學校で執行された

狩獵天狗の數は
昨年と大差なし
盛獵は來月中頃か

既報狩獵報國に待ち切つた解禁が去る十五日から兎や鴨の獵を許されて平署への免許願が日と共に增してゐるがいよ〳〵十一月一日からは一般狩獵が出來るので目下のところ出願者は百名近くあり前年と大差ない數字を示してゐる

尙地方における獵地の情報では雉、山鳥類は好繁殖らしいがまだ〳〵山には青葉が殘つてゐるので盛獵は十一月中頃からとみられ野兎毛皮報國に馬力をかけるのもその頃からと豫想されてゐる

退藏資財
小名濱回收

小名濱町各宗寺院住職七名は青年團員と協力、銃後退藏資材の獻納回收運動に乘り出すことになり二十四日手分けして全町各戸を訪問蒐集を行つた

種兎を給與
遺家族扶助に

平市では出征遺家族生業扶助のため近く種兎十五種を購入給與する事になり目下準備を進めてゐる

赤津第三校長
―滿洲から歸る

本縣敎育會滿洲視察團の一行に參加して滿洲各地を視察中であつた平第三小學校長赤津千里氏は昨日歸鄕、本日から學校に姿を見せたので生徒等は久し振りで大陸焦けの赤津校長の顏を見て大喜び土產談に胸を躍らした

童心慰問袋　平第

一校四年の二組兒童一同は [illegible] 錢を今二十五日國防獻金として市役所に獻金したがこの健氣な童心には係員も感激してゐる

大金を懷中に
山林で大賭博

勿來町酒井炭礦坑夫賭博前科八犯遠藤瀧三郎(五五)外二十餘名は二十日茨城縣境の山林で丁半賭博を開張中植田署員に踏み込まれ遠藤の義妹磐木せき(四七)內鄕村片山きくえ(六六)の外坑夫、古物商等十七名が一網打盡に逮捕されたが炭礦景氣で懷中にはいづれも百圓以上所持して居り署員を驚かした

を感激せしめてゐる

小遣錢寄附　平市

材木町大井川準之助君は毎日母親から貰つたお小遣ひを貯へてゐたが合計

野犬狩
愈よ始る

平署では近く野犬撲殺を行ふことになつたが飼ひ主に對し『許可證を首輪につける外成るべくは繫留してそと〳〵出さぬ樣』望んでゐる

磐炭新所長　內鄕

村磐城炭礦々業所では今度副所長制を廢し缺員中の所長に副所長であつた澁崎啓三郎氏、退職した技術部長後任に小島義彥氏、經理部長井上辛牛郎氏は事務部長に夫々任命された

植田の獻金　植田

校高一村田ふく、尋五山田美知子、尋四小川定江さん等三人はお小遣を貯へた金一圓五十七錢を恤兵獻金としてこの程町役場に寄託した

稻刈り奉仕　勿來

町大槻部落常會では秋の取りいれは勇士の家庭からと自分の田を後廻しにして勇士家庭の稻刈奉仕を目下行つてゐる

勿來校勤勞　勿來

町小學校上級生七百餘名は勞力不足に惱む同町出征軍人家庭二十餘戸の秋のうれしい收穫のお手傳ひをしようと二十四日午後から數班にわかれ稻刈芋ほり、麥の播種準備等 [illegible] 三圓九十二錢に達したので今二十五日二圓を市銃後奉公會に寄附した外一圓九十二錢を國防費に獻金した

植田の國婦　植田

町國防婦人會では今二十五日評議員會を開き蚊帳の釣輪獻納と茶カラ蒐集に馬力をかけることを相談したが報國農場のそば後作には麥を播くことに [illegible]

夫の家出　郡山市

滑水嘉一〇二丹治ケサさ [illegible] (五六)さんが家人の留守中無斷家出したが同町無職畠山キミ(五〇)さんと共に常磐炭礦街に働いてゐるらしいからと今二十五日平署へ搜査方を願ひ出た

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇　子供の時間　お話「炭竈の話」炭竈局工務局長森田富士助
▼後六、二五　講演
▼後七、一〇　鄕土に寄する言葉　元臺灣總督府殖產局長元秋田縣知事　內田隆
▼後七、三〇　國民歌謠　奉頌歌「靖國神社の歌」(獨唱)城多又兵衞(合唱)日本放送合唱團
▼後七、四〇　中支より講演
▼後八、〇〇　吹奏樂　一、奉頌歌「靖國神社の歌」二、歌劇「セビリアの理髮師」三、組曲「白鳥の湖」(イ)圓舞曲(ロ)白鳥の踊(ハ)ハンガリア舞曲四、行進曲「海を渡る荒鷲」海軍々樂隊(指揮隊長)內藤淸五
▼後八、三〇　連續ラヂオ小說「馬」(下)藤原鷄太　竹久千惠子、高峰秀子　その他大勢(伴奏)東京放送管絃樂團
▼後九、三〇　ラヂオスケツチ

明日の部

▼前六、三〇　支那現代文講座　岩村成允
▼前七、〇一　朝の修養「道のしるべ」(三)我無し　山田敬齋
▼前九、四五　幼兒の時間　唱歌劇「オタンジョウクワイ」山形縣女子師範學校附屬幼稚園兒(指導)遠藤ミヨ子
▼前一〇、一〇　家庭の時間「時局家庭生活の話題」此の冬の木炭　久保吉造
▼後〇、〇五　新日本音樂
▼後三、〇〇　婦人の時間　研究室餘話…農學博士　丹下ウメ
▼後五、三〇　一問十答　隣り組の組織と共運用に就て
▼後六、〇〇　子供の時間　物語劇　滿洲だより　(七)戰跡めぐり　帝塚山コドモ會
▼後六、二五　講演「貿易體制の新展開」商學博士瀧谷善一
▼後七、一〇　鄕土に寄する言葉　著述家畫家深澤紅子
▼後七、三〇　講演「紀元二千六百年奉祝第十一回明治神宮國民體育大會を迎へて」厚生省體力局長佐々木芳遠
▼後七、四〇　子供と家庭の夕　一、齊唱　勅語奉答の歌二、身體を鍛へて三、お話「珍しい話　珍らしくない話」四、童話劇「太陽をかこむ子供等」五、合唱(イ)金剛岩(ロ)花島(ハ)美しき(ニ)樂しわれ六、管絃樂…勅語奉答の歌(指揮)內田元、青木アナウンサー、大阪ラヂオオーケストラ
▼後九、〇〇　講談「伊賀の水月」神田山陽
▼後九、三〇　朗讀「モナリザ」館野アナウンサー

演藝

十月廿四日より上映

松竹大船豪華版
佐々木康監督
運命の惡戲から離れ〳〵に成つた戀人同志が互に描く再會の日！それは遂に幸福の日ではなかつた
再會
三宅邦子
坪內美子　共演
森川まさみ

松竹京都超特作
讀賣新聞所載
土師淸二原作
破魔弓傳奇（完結篇）
坂東好太郎、北見禮子
海江田讓二、其他オールキヤスト
十五萬兩埋藏を秘めた一葉の繪圖……勤王黨と佐幕方との死鬪は展開されて行く……？

日活奇想音樂時代劇
おなじみの嵐寬壽郎主演
瀬川路三郎、市川春代
其他時代劇部員總主演
仇討交響樂

日本ニュース第十九號
毎日正午開館
觀覽料　大人五〇　小人十五
松竹日活獨占封切場
松竹直營　松竹平館

產科婦人科專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）
【電話三四番】

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

第四回

第一歩（四）

手術が濟むと一兵は直ぐ病室へ出掛けた。看護婦が、患者表に書き込んでゐるところだつた。

「住所は、え、淀橋區江古田町四二番地ですね、お名前は？　松木多一、五十四歳」

看護婦の書き込んでゐる傍らで一兵は、何だか聞いたことのあるやうな名前だと思つた。

看護婦が出て行くと彼は椅子を引寄せて寢臺の傍で覗き込むやうにして

「どうも、飛んだことで申譯ありません、何か御用があつたら、遠慮なく仰言つて下さい、それからお宅の方へも直ぐ知らせなければならないと思ひますが――」

「うむ、ぢや家へ知らせてやつて下さい、大森の一八四五へ電話をかけて呼び出して、誰かに來るやうに云つて下さい。どうも、色々と心配かけて濟まんのう」

一兵は病室を出て電話室の方へ歩いて行つた。

「もしもし、一八四五ですか、松木さんの方を呼んで頂きたいのですが」

次の瞬間に自分が、與へる不吉な報告に、松木一家の人々は一瞬にして暗然たる空氣になるのだと思へば、却々出て來ないのが、反つて氣なやうな氣がした。

カチリ、微かに受話器を手にする氣配がして若々しい聲が聞えてきた。

「若し〳〵、お待たせいたしました、松木で御座いますが」

若い、娘らしい聲を聞くと、彼は何となくハツとした。

「松木さんですね、實は御主人が一寸自動車に當りましてね、今、入院しました、いや思つたより輕くて、安心してゐるところですが何誰か直ぐ來て頂きたいんですが」

――まア父が自動車に――直ぐ參ります――明らかに狼狽したらしい小さな叫びが聞えてきた。

「日本橋の近くの名瀬といふ外科病院ですから直ぐ判ります」

電話室を出ながら彼は、ふとどんな人が現れるのか知らと興味を持ち始めた。言葉の樣子では、まだ何處か堅苦しい、使ひ馴れないやうなアクセントであつた、だが、その聲は若々しさに滿ちてゐて、しつとりとした甘い柔かさが感じられた。

――どんな娘さんだらう――

「判りましたかね。誰が出ました」

松木老人は待ち兼ねたやうに訊いた。

「直ぐ通じました。さア、娘さんのやうでしたが」

彼は何故か心の中で赤くなつた自分を感じた。

「さうですか、順子かな―」

彼の言葉は、獨り言のやうに低かつたが、一兵はそれを聞いてしまつた。

―順子、順子といふ名だな―

彼は心の中でその名を繰返してゐた。

やつと彼は一先づホツとして寢臺の椅子に腰を降した。

老人は院長から、經過を宣告されてから、ぐつと安心したらしく元氣を取戻してきた。そして、一兵に何度も、濟まん〳〵を繰返してゐたが、やがてスヤ〳〵と眠りに落ちていつた。

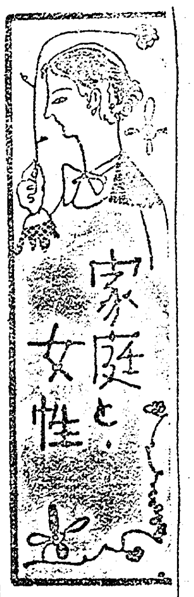
服裝から察して、あまりいゝ暮しでないことは一目で解るが、よく觀察すると、何處か上品な風貌な處があつて、何か知ら不調和な感じがした。

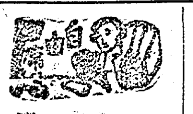
何れ相當な生活をした人だらう

――その平和な寢顏を眺めながら一兵は暫らくボンヤリとしてゐた。

老人の家の者は却々見えなかつた。

もう來さうなものだが……どんな人が來るだらう、彼は先刻から若々しい聲の主を描いてゐる自分に、ふと氣がついて赤くならずにはゐられなかつた。コツ〳〵と扉を叩く音がしたと思ふと看護婦ともう一人の女性が靜かに入つて來た。





お醫者の革新

静月テル

いはゆる新體制にそふべく、日本醫師會の全國大會が開かれた家庭婦人にとつてまことに耳よりなニュースである。……

今日の私共の生活にとつて、衣食住に次いでの關心は醫療の問題であるともいへる。で、醫師に要求されるところの醫師界にのぞみたいことは、まづ開業醫の宣傳の看板から、博士の二字を撤廢していただきたいことである。もちろん博士號は、それぞれの醫學的な學術研究によつて獲得されたものであらうし、その臨床醫として立派な方には結構なのであるが、同じ一本の注射の診療報酬が博士と學士とでは、何倍にも高くなるといふやうなことは、まことにこまることなのである

……

かくいふと、博士になるにはそれだけの金を使つてゐるといはれさうであるが、臨床醫として腕のにぶい醫師に、營利的な看板にされるのは迷惑である。もつとも、さういふ看板にまどはされる患者の方もいけないが……。ある病院では、院長の博士よりはB醫學士の方が腕がたしかなので、患者の多くはB先生にといつて行く。ところが今度B氏が獨立するといふので院長は苦慮中といふことである。

……

だが、まだそこまで尻つぽをだした開業醫師は少ないのであつて、これにはジャーナリズムにも一半の罪があると思ふ。醫學とは無關係な談話や記述に醫師の肩書をそへて發表する。この傾向は政府筋の仕事にすらあるのであるが、眞に新體制にそふべく「仁術」の出直しをやるといふのだつたら、まづかゝる自體からとおねがひしたい。

：家庭メモ：家庭で鷄を飼つてゐるお宅では玉子のからができますでせうが、これは、紙袋などでつゝみ新聞紙と一しよにもしますととても火力がつよいものです。ゴミばこにすてずご利用ください。

冠婚と葬祭の改善

各方面の意見を聴く

新體制に邁進してゐる精動本部國民生活部會委員會では世人が從來ろう習と知りながらとらはれてゐた冠婚葬祭の儀式改善を審議してゐますが、審議の概要は見合の金品廢止、結納金は絶對の限度、島臺一臺に止む簡便衣裳の新調見合せ、荷送り衣裳見せ全廢、制服、制服の利用、振袖・うちかけ・色直し全廢・質素簡略な擧式、披露は小範圍にて一人當り五圓を最高とす、祝品は近親のみ、返禮廢止、見合結婚寫眞キヤビネまたは八切以內、出産祝ひは近親者のみが貯金帳または國債を贈る、喪宿の新調全廢、葬祭は精神を主にし質素に行ふ、死亡通知、新聞廣告を簡單にする、通夜の饗宴全廢・茶菓の程度にし・時間は十時まで、喪服は新調せず、古着を黑染にし無紋で常用す、または儀禮章を用ふ、葬列は近親者のみ、花輪、放鳥、全廢、香奠は小額にす、香奠返しは全廢、中元、歳暮を廢しやむ得ぬ吉凶には國債または貯金で贈答して贈るといふこと等で近く具體案が決定するはずですが、これについて一般識者はどんな意見を抱いてゐるか聞いてみました

色にこだはるな

黑の喪服は舶來風習

駒澤大學教授　山上曹源氏談

葬儀の根本は佛教からいへば追善即ち他界した人の人格の尊嚴なる方面を追究することで、これを忘れては意義を失つてしまふ。だから葬儀に見榮を張りさかんにしても追善にはならない

●具體的に…　いへば放し鳥は實は動物虐待であるし、大部分の花輪は贈る人の宣傳その他不純な動機のものである。また黑の喪服は近來西洋人が傳來の風習をとり入れたもので、佛教では白を使ひ、色にこだはる必要は全くないので、從つて傳來の風習の喪章もいらないと思ふ、香奠は佛教では「香資」といひ讀んで字の如く生前親しかつた間柄で葬儀を助ける家庭制度から發した相互扶助精神の現れであるから小範圍の間で行はれる限り良風であるが、この精神のしめす通り香奠返しはまつたく無意味である

●次に通夜…　の本來の意味はこれが一生の別れと眞に思ふ人が故人に附添つて夜をすごすので、この意義が分つてゐれば佛事禁酒はいふまでもなく、接待の態度も自らわかるわけである、同時に通夜に行く側も無意な氣もちさへ除すればよいのだから長時間の形式にこだはる必要はない

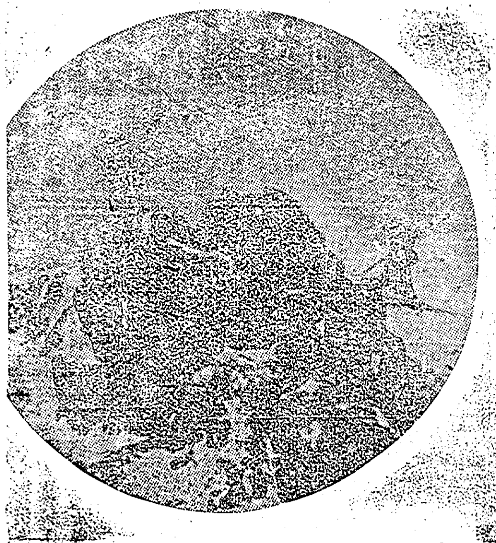
實行性がある

一枚の式服

三輪田元道氏談

家族制度は日本特有のものですから、結婚式は本來からいへば一家の祖先の靈前でちかひを立てるのが本當です、大神宮などで擧式するのが便利ですが、結婚式に差別の定例をつけたのは營業政策です披露の今の風習は商人が買らんかなの目的で作られたので、ことに「色直し」はまつたく意味のないものです、神前で誓約に擧式する以上、親の着物でもなんでも白えりにする程度でいゝと考へます、普通社會人として社交儀禮用の服裝は必要ですから、結婚式後紬をつめて使へる工夫をした紋附を一つ作るのも一方法です、式後親戚、知人、竹馬の友などの少數を招ぶことはいゝと思ひますが、食べることを本位に考へるのは間ちがひでお茶の會ですませればいゝと思ひます

ろう習の打破はなかく困難ですが今日の時代こそはじめて實行し得る時機です一まいの式服をもつ程度が最も實行性があるやうに思ひます



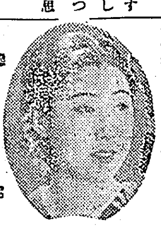
想起せよ！白雪をふんで

眼の充血を去る法

つよい紫外線やあつさのために眼が充血した時にひと晩で疲れを去りすつきりとすみとほつた明眸にする方法をお知らせしませう。

まづ眼帶をつくりますガーゼを二重にしてその間に脫脂綿を少々いれて兩眼にあたるやうにつくり、中央の鼻すじの部分にはあとがつかぬやう二センチ位のはばに切つたガーゼをわたし兩耳にかける輪もつくります。これを冷水にひたしてしぼり、就寢前にかけてやすみますと眼にしみた水分が蒸發する際にねつを奪つて眼球はほどよく冷されます。

美人ものは集



- ◆大きくてよいものは……眼
- ◆小さくてよいものは……口
- ◆赤くてよいものは……唇
- ◆白くてよいものは……齒
- ◆長くてよいものは……髮
- ◆短くてよいものは……爪
- ◆細くてよいものは……指
- ◆太くてよいものは……腕
- ◆廣くてよいものは……額
- ◆高くてよいものは……鼻

齒を磨くなら

齒は縱に筋目がついてゐるのですから、横にみがくのは効果すくなく、齒ようじをたてに使ふのがいゝのですそれに齒表ばかりみがいて裏をみがかないのはなほ更いけません、汚物は齒裏に多く附着するものですから、これを十分みがかねばなりません

スフ、人絹の純絹化に初めて成功した
世界唯一の強化劑

……惱みの種だつた弱いスフ、人絹の缺點は解消される

ノーリツプスの特殊藥劑は纖維の一本一本に化學的變化を與へ非常に抵抗力の强い纖維性物質を構成し糸の質を全然變へてしまひますから

耐久力の强化を完成され、脫落（ほつれ）を防止され――弱いスフ、人絹の光りを消し――彈力を持たせ、ダルミズレ落ちる事なく――防水性を與へますからよごれた時など一寸洗へば落ちてしまひ

……スフ人絹の持つ醜色點を完全に防止します

粉末劑三包入　定價五十錢
（長靴下三足分短靴下六足分足袋三足分）

使用法

簡單な操作ですから最初一回の御使用で何回洗濯しても効力を減しません

◆一包を約一合のぬるま湯に溶かし靴下を三四十分間浸してから――しぼらず日陰干して乾かす――完全に乾いたら石鹸水に一、二分間充分浸す（この時特殊藥劑が石鹸水のアルカリ分と化合して化學的變化を起すのです）次に清水ですゝいで再びしぼらず日かげ干しにして乾かす（他の品物も一包を約一合の割合で溶解液を作つていただけば効力は同じです）

特に靴下

婦人用・男子用・小學生用、女學生用、各種靴下に足袋、ソツクス、エプロン、シヤツ、肌衣、さる又、ズロース、割烹着等、其他スフ、人絹製品一般に

全國デパート、洋品店藥店等にあり

見本を切手十二錢で一包入左記で送呈します

東京銀座ノーリツプス本舖
昭和商會
（廣告）

急性慢性　蓄膿症　中耳炎　淋疾　婦人病　化膿性疾患一般

內服による純正化學短期療法劑

プロゾンは純國產スルフアミンを錠となしたるものにして、スルフアミンの偉効は、サルバルサンの發明に對する偉力と對比せられ、眞に醫學界の賞讃を受く。發賣元より急送す。

プロゾン錠

定價　100入　¥6.00　50入　¥3.50　20入　¥1.50

製造元　東京中野　二葉製藥株式會社

東京市芝區南佐久間町一丁目五二

發賣元　二葉衞生研究所

電芝0806、振替東京111474

驚くべき强力の膠着劑現はる！

彈力セメント

特許出願濟

廢物再生、資源愛護の强力修理劑

ゴム革靴地下足袋等のどんな大破も誰でも簡單に修理出來ます。毛絲スフ類の靴下、足袋の穴破もイラズに即時直ります。又小學生の運動靴ゴム底足袋の修理には最適です。バケツ、洗面器、雨カツパの修繕にも適し是な布に塗れば防水完全の人造皮革となります。價格低廉一罐五十錢是非一度御試用を乞ふ

◎送料十錢代金引換切手二十錢前送ノコト
（代理店販賣條件有利）

東京市淺草區菊屋橋二丁目八番地

彈力セメント工業所

電話淺草(84)三三八四番
振替口座東京一五二六一九番

工場東京江戸川區東小松川二丁目四九五〇番地

◎女車掌
（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス

平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

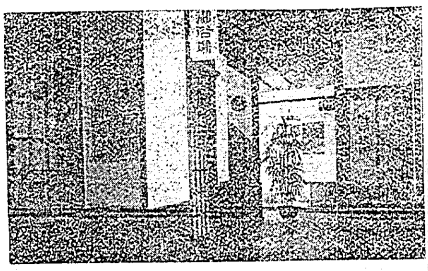
…お買物なら
在庫品豊富な…
平市田町
銀座通り
玉屋洋品店
電話六五六番

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タヒラ・ギンザ通り
グリル　バツカス
電七〇二番

吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

お醤油はヤマフル
福島縣平市
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
釀造元
鹽屋
明治生命磐城代理店
山崎與三郎
電話一一〇
二七番

電話番號變更御案內
電話五百十八番
毎度御引立難有御禮申上げます、本日より電話番號右之通り變更致しました
今後一層御引立の程御願ひ致します
右御案內旁御願ひまで
平市四丁目
スガノヤ提灯店



鐵道指定旅館
割烹
小瀧
小名濱電話一〇三番

家傳
安流丸
梅毒こたい毒
吹出物にはれものは
安流丸
に限る
平市田町
阿部藥舖

奉祝紀元2600年
★★★★★★
寫友會展
11月2・3日
於平市公會堂
磐城寫友會
平市2・大村屋方

割烹
花村
平市田町　電話四番

喜多流謡曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
喜多流　謡曲仕舞
白土會
平市田六九町
電一二七番

食事
喫茶
酒場を兼ねた
レストラン
サロン
平市銀座街
電話五九二番
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十時半限り

初秋!!!
（とんかつ專門の店）
興亞の春を迎ひどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します。
平市仲田町（電話四六五）
かの家
營業時間
自　午前十一時
至　午後十一時

『旨い』と一言にして盡く
神戸牛
すき燒
相始め申候
日本料理
平市仲田町
山茶莊
電五二〇

……お惣菜用、さつま揚、吉原揚……
かまぼこ、竹輪　製造
丁子屋?
平市一丁目　電話一四一番

齒科口腔外科
レントゲン科
院長　東京齒科醫學士　原精一
電話三一番
平市土橋
原齒科醫院

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
玉屋
平市本町二丁目

平市南町十四番地（警察署通り角）
（舊診療所　平市六丁目）
木村外科醫院
外科一般
內臟外科
性病科
肛門病科
木村淳
電話三〇九番
◎入院應需

平病院（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）
院主院長　醫學博士　鈴木定藏
內科　小兒科　院長　副院長　鈴木定藏
一般外科　內臟外科　副院長　高橋俊幸
泌尿器科　レントゲン科　物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科部長　吉本孝平
◎診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄
（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）

入院隨意
北川外科
平市新川町（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫
內臟外科
レントゲン科
泌尿器科

開院
外科一般　內臟、外科
整形外科　肛門病科
性病科　レントゲン科
平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長　上田耕作
電話一九二番